

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2004年放送分](#) > 3月13日放送分 リサイクルで新たな着物市場を！ ～女性の心をつかんだ呉服問屋～

## 3月13日放送分 リサイクルで新たな着物市場を！ ～女性の心をつかんだ呉服問屋～

13日(TX・TVO・TSC)

14日(TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

15日(BSJ)

需要の減少により低迷の続く着物業界。その状況に危機感を抱いた老舗呉服問屋の東京山喜(株)(資本金5,835万円、従業員数50名)は、新業態として着物のリサイクルショップを出店した。その特徴は、洗浄・抗菌加工を施した綺麗な商品と誰でも入りやすい雰囲気のお店。従来の古着屋や呉服店の常識を打ち破る柔軟な発想で着物の潜在需要を掘り起こし、業界に新風を吹き込んだ同社の経営革新を紹介する。

### リサイクルで新たな着物市場を！ ～女性の心をつかんだ呉服問屋～

[視聴覚教材No. TV15-49](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



今日は志垣さんに代わり、いつもナレーションをしている十日市さんがレポーターとして登場。低迷する着物業界で、売上を伸ばしている企業を訪ねる。

こちらが東京山喜の中村社長。今年で創業80周年になる老舗の呉服問屋の3代目社長だ。





4年前から開始したリサイクルの着物ショップ「たんす屋」へ。古着とは思えないような綺麗な商品が並んでいる。5,000円の着物や8,000円の帯など、どれも求めやすい価格。

「お茶の稽古用なので高価な物は必要ない。ここでは、値段もちょうど良く素敵な物が見つかるので、選択の余地が大きい。」とお客さんの反応は上々。



暗い・臭い・汚いという古着屋のイメージから脱却するため、丸洗い・消臭・プレス加工等をした清潔で綺麗な商品を気軽に入れる明るい店舗で販売。女性からの支持を受け、4年間で70店舗に！

- ・古着をリファイン(丸洗い・消臭・プレス等)して販売
- ・従来の古着屋のスタイルから脱却着物の潜在需要を発掘



たんす屋の発想は、たまたま立ち寄った古本屋「ブックオフ」で思いついた。「明るく広い店内と綺麗な本を見て、瞬間的にキモノオフが閃いた。」と中村社長。



商品は出張買い取りを中心に集められる。呉服問屋の経験を生かし、専門の査定員が行っている。



本部で週2回行われる店長による仕入れ。たくさんの商品から店の客層に合わせて仕入れを行う。橋本店の仕入れのポイントが「主婦感覚のお小遣いで買える物」と青木店長は話す。



東京山喜(問屋)の得意先のやまと(小売店)は全国に店舗を持つ着物専門店。「やまととたんす屋が共存共栄するほうがマーケットが広がると判断した。」と話す矢嶋社長。



そこで、やまとはたんす屋のフランチャイズに。中村社長は「チェーン展開するのはほ



とんど不可能な中で、やまとさんと組み  
ていただき、たんす屋に磨きがかけられ  
た。」と話す。



これはアンティーク調の新品着物。リサイ  
クル品のファッション性が取り入れられて  
いる。東京山喜の取り組みが早速マーケッ  
トに変化を与えていた！

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN